

第 64 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会
第 47 回北海道特別支援教育研究協議会全道大会
第 73 回北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会

第 64 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会
(第二次案内)

「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」

令和 7 年 10 月 23 日 (木)・24 日 (金)

第 64 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会を次の要領にて開催いたしますことを御案内申し上げます。

季節ごとに様々な魅力のある北海道ではありますが、10 月は、美しい紅葉が広がり、旬のおいしい食べ物も堪能いただける最高の季節です。そんな秋の魅力が溢れる時期に、全国各地から特別支援教育に関わる多くの方々に参集いただき、大会主題を「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」として、各校の教育実践や情報交流等が深まり、幼児児童生徒一人一人に応じた特別支援教育の充実につながる大会となることを楽しみに、北海道の地でお待ちしております。

令和 7 年 6 月 吉日

全日本特別支援教育研究連盟 理事長 名古屋 恒彦

第 64 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会 実行委員長 山本 貴路

主 催

全日本特別支援教育研究連盟 北海道特別支援教育研究協議会 北海道特別支援学級教育研究連盟

後 援

文部科学省 こども家庭庁 全国都道府県教育委員会連合会 全国国公立幼稚園・子ども園長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会 全国特別支援学校長会
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 全国特別支援学校知的障害教育校長会
全国特別支援教育推進連盟 公益財団法人日本知的障害者福祉協会
全国手をつなぐ育成会連合会 公益社団法人日本発達障害連盟 日本発達障害学会
北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道小学校長会 北海道中学校長会
北海道高等学校長協会 北海道特別支援学校長会 北海道国公立幼稚園・こども園協議会
北海道特別支援学校知的障害教育校長会 北海道特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
札幌市小学校長会 札幌市中学校長会 札幌市立高等学校・特別支援学校長会
札幌市立幼稚園・こども園長会 札幌市立特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
社会福祉法人北海道手をつなぐ育成会 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部

大会開催要項

1 大会主題

特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、
将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して

2 趣 旨

インクルーシブ教育システムを構築し、特別支援教育を進展させていくためには、障がいのある子供と障がいのない子供が可能な限りともに教育を受けられる学びの場を整えることが求められています。そのために、障がいのある子供の自立と社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、連続性のある多様な学びの場の一層の充実を図ることが必要と考えます。具体的に、指導方法や指導体制、施設環境など障がいのある子供の学びの場の整備、特別支援教育に関わる教職員の専門性の向上、1人1台端末の最新のICT機器の活用、関係機関の連携強化による切れ目ない支援体制の在り方など、インクルーシブ教育の実現に向け検討しなければならないことがあります。

そこで、本大会では、大会主題を「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」とし、特別支援教育の今後の在り方を全国各地の皆様と研究協議を深め、子供たち一人一人が自分らしい人生を歩んでいけるための特別支援教育の更なる発展・充実につながる大会を目指しています。

3 大会期日

令和7年10月23日(木)・24日(金)

4 参加者

全日本特別支援教育研究連盟構成団体会員

幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校・大学の教職員、特別支援教育研究者、関係団体の方、特別支援教育に関心のある方

5 日 程

◆1日目 10/23(木)

9:20	9:50	10:40	12:00	13:30	14:45	16:15	16:30	17:45	18:30	20:30
受付	開会式 表彰式	研究報告	昼食	行政説明 基調報告	記念講演	閉会式	研究協議会 理事・評議員	移動		レセプション

◆2日目 10/24(金)

8:40	9:20	11:00	13:00	15:00	15:15
受付	学校・園 見学	移動 昼食	分科会	閉会行事	

※昼食について：弁当注文は受け付けておりません。会場近隣の飲食店を御利用ください。

全体会場のカナモトホール大ホールは、飲食禁止となっておりますのでご注意ください。

昼食場所として、1日目は2階会議室、2日目は各分科会会場の御利用が可能です。

6 記念講演

演題：一人一人の良さや強みを生かした、子供主体の学びの実現
～一人一人に合った学びの場や授業づくり～
講師：広島都市学園大学 教授 竹林地 毅 氏

7 研究報告

- (1) 三木安正記念研究奨励賞受賞者
- (2) 北海道立特別支援教育センター：教育課長 三浦 貴徳 氏

8 会場

(1) 全体会会場

カナモトホール（札幌市民ホール） 1階大ホール
札幌市中央区北1条西1丁目 / 電話（011）252-3700
◆地下鉄：南北線、東西線、東豊線「大通」駅下車 31番出口正面

(2) 学校・園見学

詳細は「12 学校・園見学」の項目を御覧ください。

- A 札幌市立中央幼稚園（札幌市中央区北2条西11丁目）
- B 札幌市立栄町小学校（札幌市東区北36条東13丁目3-1）
- C 札幌市立中央小学校（札幌市中央区大通東6丁目12）
- D 札幌市立中央中学校（札幌市中央区北4条東3丁目1-1）
- E 札幌市立栄町中学校（札幌市東区北36条東14丁目1-1）
- F 北海道札幌伏見支援学校（札幌市中央区伏見4丁目4-21）
- G 北海道星置養護学校（札幌市手稲区星置3条8丁目2-1）
- H 北海道星置養護学校ほしみ高等学園（札幌市手稲区手稲山口740番地1）
- I 北海道札幌稲穂高等支援学校（札幌市手稲区稲穂4条7丁目12-1）
- J 北海道札幌あいの里高等支援学校（札幌市北区あいの里4条7丁目1-1）
- K 高等学校 通級指導実践報告（カナモトホール2階 会議室1 札幌市中央区北1条西1丁目）
※Kは、学校見学ではなく、別会場で実践報告を行います

(3) 分科会会場

- ア カナモトホール（札幌市民ホール）
札幌市中央区北1条西1丁目 / 電話（011）252-3700
◆地下鉄南北線、東西線、東豊線「大通」駅 31番出口正面
- イ ホテルライフオーブ札幌
札幌市中央区南10条西1丁目 / 電話（011）521-5211
◆地下鉄南北線「中島公園」駅 3番出口より徒歩3分
- ウ 北海道立道民活動センター かでる2.7
札幌市中央区北2条西7丁目 / 電話（011）204-5110
◆JR札幌駅南口より徒歩13分
◆地下鉄南北線「さっぽろ」駅 10番出口より徒歩9分

9 分科会

No	分科会名	テーマ	討議の柱	会場 (予定)
1	就学進学相談・支援の在り方(幼小中高連携)	一人一人の教育的ニーズを踏まえた相談、就学、進級、進学時の適正な相談、支援	○本人・保護者との合意形成に向けた支援 ○早期からの一貫した指導・支援に向けた情報共有のための工夫	ウ
2	通常の学級における合理的配慮	一人一人に合った学校全体で取り組む合理的配慮	○「学びやすさ」をつくる校内支援体制(校内連携) ○一人一人の学びにつながる合理的配慮の提供と評価	ウ
3	高等学校における特別支援教育	高等学校における一人一人に応じた指導及び、地域の特色を生かした指導の充実	○特別支援教育の視点を生かした指導・支援 ○進路決定、自立に向けた支援の在り方	ウ
4	通級による指導	一人一人の特性に応じた指導の実現に向けた通級指導と通常学級の連携	○一人一人の教育的ニーズに応じた効果的指導の在り方 ○在籍学級(校)や関係機関との効果的連携に向けた方法と課題	イ
5	教科別の指導① (小学校、小学部段階)	一人一人の資質・能力の育成を目指す授業づくり	○自分のよさを実感し、社会で生きる資質・能力の育成 ○個に応じた指導方法の工夫と学習評価の充実	ア
6	教科別の指導② (中学校、中・高等部段階)	一人一人の資質・能力の育成を目指す授業づくり	○自分のよさを実感し、社会で生きる資質・能力の育成 ○個に応じた指導方法の工夫と学習評価の充実	ア
7	各教科等を合わせた指導①(作業学習)	一人一人の自立と社会参加に向けた働く力の育成と学びの連続性を意識した指導の実践	○見通しをもち、主体的に取り組むための指導 ○地域の特色を生かし、働く力を伸ばす指導の工夫	イ
8	各教科等を合わせた指導②(日常生活の指導、生活単元学習)	一人一人の自立と社会参加に向けた生活する力の育成と学びの連続性を意識した指導の実践	○見通しをもち、主体的に取り組むための指導 ○教科や他単元とのつながりのある学びに向けた取組	イ
9	自立活動	一人一人の自立と社会参加を見据えた指導	○個に応じた指導方法の工夫と評価 ○良さを生かし意欲を引き出す取組の工夫	イ
10	キャリア教育	一人一人のキャリア発達を見据えた指導の実現と社会参加に向けた継続した指導	○自己肯定感と自己理解を促し、主体的な意思決定力を育むための指導・支援 ○生活年齢、発達段階に応じた指導内容	ウ
11	不登校傾向の児童生徒への支援	一人一人に応じた理解と支援のための関係機関との連携	○対象児童生徒との関係づくりに向けた取組 ○保護者・地域・関係機関との連携の在り方	イ
12	就労支援	就労継続に向けた一人一人の希望を叶える指導・支援	○「働き続ける」力を育てる就労支援 ○本人を中心とした関係機関との連携の在り方	ウ
13	特別支援教育コーディネーターの役割と育成	一人一人の適性に応じた指導・支援につなげる校内支援体制の充実	○校内における支援体制の整備 ○支援をつなげるための地域資源の活用	イ
14	交流及び共同学習	一人一人の良さを認め合う交流及び共同学習の実現	○豊かな学び合いを深めるための取組の工夫 ○保護者、居住地校等との連携方法	イ
15	障がい者スポーツ・文化芸術活動	一人一人の生涯に渡る生活の充実	○豊かな人生につながる活動の充実 ○活動のネットワークづくりに向けた取組	イ

※会場は人数により変更になる場合があります。決定後、改めてお知らせします。

10 分科会（提案発表者、助言者）

(1) 提案発表者一覧





No	分科会名	所 属	職 名	名 前
1	就学進学相談・支援の 在り方（幼小中高連携）	宮城県立迫支援学校 北海道札幌市立かつこう幼稚園	主幹教諭 教 諭	菅 原 友紀子 吉 田 香 里
2	通常の学級における 合理的配慮	神奈川県横浜市立西本郷小学校 神奈川県横浜市立大鳥中学校 北海道札幌市立信濃中学校	校 長 校 長 教 諭	活 田 宏 輔 新 庄 広 田 近 健 太
3	高等学校における 特別支援教育	石川県立金沢中央高等学校 北海道札幌西高等学校（定時制）	教 諭 教 諭	東 野 佳 子 平 口 莉 菜
4	通級による指導	宮崎県西都市立妻北小学校 北海道札幌市立ひばりが丘小学校	教 諭 教 諭	白 水 亜利沙 松 澤 史 子
5	教科別の指導① （小学校、小学部段階）	滋賀大学教育学部附属特別支援学校 北海道札幌市立琴似中央小学校	教 諭 教 諭	福 本 竜 也 笠 井 考一朗
6	教科別の指導② （中学校、中・高等部段階）	大分県立臼杵支援学校 北海道札幌市立簾舞中学校	主幹教諭 教 諭	香 川 昌 範 畠 山 治 朗
7	各教科等を合わせた指導① （作業学習）	秋田県立大曲支援学校せんぼく校 北海道函館高等支援学校	教 諭 教 諭	櫻 田 菜 保 祐 川 建一郎
8	各教科等を合わせた指導② （日常生活の指導 生活単元学習）	長野県麻績村立筑北中学校 北海道釧路養護学校	講 師 教 諭	西 澤 順 子 三 浦 真 彦
9	自立活動	静岡県浜松市立瑞穂小学校 北海道中札内高等養護学校	教 諭 教 諭	飯 尾 育 子 阿 部 枝里子
10	キャリア教育	大阪市立東淡路小学校 北海道札幌高等養護学校	指導教諭 教 諭	石 川 美 希 佐々木 千 尋
11	不登校傾向の 児童生徒への支援	広島市立広島特別支援学校 北海道美深高等養護学校あいべつ校	教 諭 教 諭	北 村 知恵子 栗 名 優 介
12	就労支援	長崎県立鶴南特別支援学校 北海道今金高等養護学校	教 諭 教 諭	齋 藤 卓 大 倉 正 也
13	特別支援教育コーディネー ターの役割と育成	宮城県立利府支援学校 北海道札幌養護学校白桜高等学園	教 諭 教 諭	佐 藤 かおる 海 津 さやか
14	交流及び共同学習	高知県津野町立葉山小学校 北海道稚内養護学校	教 諭 教 諭	岩 田 扉納子 前 田 美 乃
15	障がい者スポーツ・ 文化芸術活動	兵庫県たつの市立東栗栖小学校 兵庫県揖保郡太子町立石海小学校 北海道新篠津高等養護学校	校 長 校 長 教 諭	香 田 有紀子 西 田 美香子 山 田 勇 気

(2) 助言者一覧

No	分科会名	所属	職名	名前
1	就学進学相談・支援の在り方(幼小中高連携)	星槎大学 札幌市教育委員会	副学長 指導主事	西 永 堅 金 澤 恵 美
2	通常の学級における合理的配慮	東京都大田区立調布大塚小学校 北海道文教大学	校 長 教 授	玉 野 麻 衣 村 田 敏 彰
3	高等学校における特別支援教育	東京都立中野特別支援学校 北海道文教大学	校 長 教 授	和 田 慎 也 相 馬 哲 也
4	通級による指導	白百合女子大学 北海道教育大学札幌校	教 授 准教授	山 中 ともえ 山 下 公 司
5	教科別の指導① (小学校、小学部段階)	川村学園女子大学 札幌市教育委員会	教 授 指導主事	小 倉 京 子 山 崎 貴 博
6	教科別の指導② (中学校、中・高等部段階)	国立特別支援教育総合研究所 北海道教育庁石狩教育局	上席総括研究員 指導主事	丹 野 哲 也 山 口 智 也
7	各教科等を合わせた指導① (作業学習)	明治学院大学 北海道文教大学	教 授 教 授	高 倉 誠 一 山 下 秀 樹
8	各教科等を合わせた指導② (日常生活の指導 生活単元学習)	植草学園大学 星槎道都大学	准教授 特任教授	高 瀬 浩 司 堀 川 厚 志
9	自立活動	弘前大学大学院 星槎道都大学	教 授 特任教授	菊 地 一 文 千 葉 聡 美
10	キャリア教育	神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学 北海道立特別支援教育センター	名誉教授 教育課長	松 為 信 雄 三 浦 貴 徳
11	不登校傾向の児童生徒への支援	東京都足立区立足立小学校 星槎道都大学	校 長 特任教授	加 藤 憲 司 藤 根 収
12	就労支援	東京都立墨田特別支援学校 札幌大学	校 長 教 授	深 谷 純 一 小 嶋 義 勝
13	特別支援教育コーディネーターの役割と育成	東京都町田市立鶴川第一小学校 北翔大学	校 長 教 授	小 林 繁 文 上 林 宏 文
14	交流及び共同学習	東京都品川区立第一日野小学校 北翔大学	校 長 教 授	大 関 浩 仁 小 原 直 哉
15	障がい者スポーツ・文化芸術活動	順天堂大学 北海道教育大学札幌校	教 授 教 授	渡 邊 貴 裕 安 井 友 康

11 学校・園見学

A	<p>札幌市立中央幼稚園 (札幌市中央区北2条西11丁目)</p> <p>#幼稚園 #授業参観 #やってみたい!を自分で考えて実現しようとする子どもたち</p> <p>札幌の中心部にありながら大通公園や植物園等の自然や四季を味わうことができ、近隣には美術館や知事公館等、文化や歴史を感じさせる施設があります。隣接する市立札幌大通高校の広いグラウンドを借りるなど、豊かな環境の中でこれからの時代を生き抜く力の「根っこ」の部分を大切に育む教育活動を行っています。</p>	 中央幼稚園
	<p>札幌市立栄町小学校 (札幌市東区北36条東13丁目3-1)</p> <p>#小学校特別支援学級 #校舎見学(フリー)と授業参観</p> <p>全校児童400名の中規模校。今年度は知的障害特別支援学級4学級、自閉症・情緒障害特別支援学級3学級、難聴特別支援学級1学級を設置し、50名が在籍しています。習熟度別の編成により、個に応じた指導を通して、児童同士の関わり合いや学び合いを目指しています。</p>	 栄町小学校
C	<p>札幌市立中央小学校 (札幌市中央区大通東6丁目12)</p> <p>#小学校特別支援学級 #校舎見学(フリー)と授業参観</p> <p>札幌市の中心部にありながら、大通公園や豊平川など、北海道の自然を味わうことができる地域にある学校です。開校当時より、地域と共に学校文化を創り上げていく創造的な学校を目指しています。リーディングDXスクールの指定を受け、生成AIの学習への活用についても積極的に取り組んでいます。特別支援学級は5学級です。</p>	 中央小学校
	<p>札幌市立中央中学校 (札幌市中央区北4条東3丁目1-1)</p> <p>#中学校特別支援学級 #校舎見学(フリー)と授業参観</p> <p>昭和43年、札幌中心部の二つの中学校を統合して開校した中学校です。前身の両校が築き上げてきたよき校風と教育実践を受け継ぎ、名実ともに人口百万都市札幌にふさわしい気品と品格、風格を備えた市内中央に位置する学校でありたいという願いを込めて名付けられました。平成29年に現在の5階建ての新校舎が竣工しました。今年度は、特別支援学級4学級を含めて全18学級あります。</p>	 中央中学校
E	<p>札幌市立栄町中学校 (札幌市東区北36条東14丁目1-1)</p> <p>#中学校特別支援学級 #授業参観 #幅広い特性に対応</p> <p>昭和61年に開校し、今年度で開校40周年を迎える「明るい挨拶」「思いやりの心」「心に響く歌声」等を伝統として受け継いでいる中規模校です。特別支援学級の生徒数は札幌市内では最大規模の5学級37名が在籍しており、校舎1階のほぼすべてのスペースを特別支援学級が使用しています。幅広い生徒の特性や発達段階に応じた支援をしています。</p>	 栄町中学校
	<p>北海道札幌伏見支援学校 (札幌市中央区伏見4丁目4-21)</p> <p>#小学部・中学部・高等部 #校舎案内と授業参観 #狭隘化の中、環境を創意工夫しながらの教育</p> <p>平成28年に札幌市中央区で開校し、今年で10周年を迎えます。年々在籍児童・生徒数が増加し、今年度は、小学部77名、中学部46名、高等部53名、合計176名が在籍し、狭隘化の中、学習に取り組んでいます。地域資源の活用や地域貢献をとおし「夢」「協働」「感謝」「笑顔」を合言葉に、児童・生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育に取り組んでいます。</p>	 伏見支援学校
G	<p>北海道星置養護学校 (札幌市手稲区星置3条8丁目2-1)</p> <p>#小学部・中学部 #校舎案内と授業参観</p> <p>小学部20学級、中学部11学級の学校です。子どもたちの笑顔のために職員も笑顔を絶やさず業務にあたる「笑育最幸(わらいくさいこう)」をスローガンに、日々児童生徒の安全・安心をベースに教育活動を行っています。個々人の良さを認め、児童生徒の可能性を引き出せるよう取組を行っています。(※ほしみ駅⇄学校 送迎あり)</p>	 星置養護学校

H	北海道星置養護学校ほしみ高等学園 (札幌市手稲区手稲山口 740 番地 1) #高等部 #コース制 #授業参観とコース制の紹介 星置養護学校の分校として開校し、現在、普通学級、重度重複学級、訪問教育学級、合わせて 103 名の高等部の生徒が在籍しています。1 学年は共通の教育課程で、2 学年からはコース制（「ワークデザインコース」と「ライフデザインコース」）に分かれ学びます。目指す生徒像は「みずから・よろこび・つたえあい」。「笑育最幸（わらいくさいこう）」をスローガンにして、日々生徒の安全・安心をベースに教育活動に励んでいます。 (※ほしみ駅⇄学校 送迎あり)	 ほしみ高等学園
	北海道札幌稲穂高等支援学校 (札幌市手稲区稲穂 4 条 7 丁目 12-1) #高等部 #職業学科 #校舎案内と授業参観 平成 23 年に訓練施設を再利用し開校した、職業学科を設置した自力通学型の学校です。作業学習や教科などの学習により、生徒一人一人が社会の中で自分らしく生きていくための実践的な能力や可能性を伸ばす教育課程を編成しています。教育活動は校内にとどまらず、地域資源を活用し、地域と共に展開し取り組んでいます。	 稲穂高等支援
J	北海道札幌あいの里高等支援学校 (札幌市北区あいの里 4 条 7 丁目 1-1) #高等部 #職業学科・普通科 #校舎案内と授業参観 平成 28 年度に開校、本年度で 10 周年を迎えた学校です。職業学科と普通科を設置した通学型の特別支援学校高等部で、福祉と文教地域という特色を生かし、各学科の製品販売や学習活動の発表などを行う地域向け販売会や、周辺施設を活用した作業学習やインターシッパなどの教育活動を展開しています。	 あいの里高等支援
	高等学校 通級指導についての実践報告 (札幌市中央区北 1 条西 1 丁目 カナモトホール) #実践報告 #高等学校 #通級指導の実践について 見学先として予定していた高等学校において、通級指導をしていた生徒の卒業に伴い、今年度は通級指導対象とする生徒が在籍していないため、昨年度まで通級指導を担当していた教諭による実践紹介を行います。	 カナモトホール

※学校要覧、地図などは、各校のホームページ (QR コード) を御覧ください。各校までの交通手段は、大会申込ホームページ(6 月下旬開設)の「参加申込について (御案内)」を御覧ください。

12 経 費

大会参加費	4,500 円
大会集録費	2,000 円
レセプション参加費	7,000 円

13 大会申込ホームページ

<http://www.mwt-mice.com/events/64-zentokuren>

※申込み期間は 6 月 30 日 (月) ~ 8 月 1 日 (金) ですが、6 月 23 日より閲覧できます。

※全日本特別支援教育研究連盟のホームページにもリンクを張っております。

<http://zentokurenhp.world.coocan.jp>

14 大会事務局

〒061-1264 北海道北広島市輪厚^{わつつ}621-1

北海道白樺高等養護学校

TEL 011-376-2353

FAX 011-376-2024

Email hokutokuken@hokkaido-c.ed.jp

実行委員長 北海道白樺高等養護学校 校長 山本 貴路

事務局長 北海道白樺高等養護学校 教頭 奈良 吉高